

## 五能線を走る観光列車がやってきた

## 「リゾートしらかみ樫」が只見線に初入線

観光列車「リゾートしらかみ樫編成」が6月7日にJR只見線に初入線し、「只見線こども会議」（以下同会議）のメンバーや町民らが、乗客をもてなしました。今回の入線は、令和5年に開かれた同会議で「ブナをイメージした列車がブナの町である只見町を走れば只見線が盛り上がる」と意見が出たことから、署名活動を行い、集まった署名をJRなどに提出し、実現しました。

同会議のメンバーは、横断幕やシャボン玉、1分駅長フォトサービス、オリジナルコースター配布などで、乗客を含む来駅者をもてなしました。また同会議の子どもたちは、「只見線が盛り上がる活動が続けていきたい」と話しました。



▲シャボン玉などでおもてなしをした只見線こども会議のメンバーや町民

## 坂田地区の史跡をめぐる

## 「明和ふるさとハイキング」開催



▲ハイキングを楽しんだ参加者たち

明和自治振興会主催の「第9回明和ふるさとハイキング」が6月14日に開催されました。

参加者らは、飯塚恒夫さん（坂田）の案内で、夏渡橋や滝原古戦場、坂田観察の森など、往復約2キロのコースを1時間半ほどの時間で回り、ハイキングを楽しみました。

また、ハイキング後に、希望者は、坂田打杭地内の棚田を見学し、集落での棚田の取り組みや構想などについて学びました。

## 高校野球で交流を深める

## 只見高校「三条市高校野球交流大会」参加

三条野球連盟の主催で「第4回三条市高校野球交流大会」が6月14日に三条パール金属スタジアム（三条市）で開催され、招待校として只見高校が参加し、三条高校、新潟県央高校と交流試合をしました。

第1試合は三条高校との試合が行われました。只見高校が初回表に1点を先制すると、三条高校もその裏にすぐに追いつくなど両者譲らない試合となりました。3回表に只見高校が追加点を上げるも、裏に勝ち越され、その後は5回、6回に三条高校がリードを広げ、8回時間切れのため2対5で惜しくも三条高校に敗れました。

第2試合は県央工業高校との試合が行われました。1回裏に県央工業高校に3点の得点を許すと、その後徐々に点差を広げられ、6回降雨コールドゲームとなり、県央工業高校の勝利となりました。

15日に予定されていた三条東高校、三条商業高校との試合は雨天中止となりました。



▲試合を通して、交流を深めました

## 只見町からラジオ生放送

### 六角精児さん来町 只見線を応援

NHKラジオ第1で放送中の「ふんわり」の6月19日放送は只見町から放送されました。木曜日パーソナリティの六角精児さんが来町し、駅前旅館只見荘をスタジオに「奥会津のライフライン 走れ！只見線」のタイトルで放送が行われました。

酒井治子さんや目黒ゆかりさん、脇坂斉弘さんらがゲストを務め、六角さんと一緒に只見線の魅力を伝えました。

放送では、六角さんが只見線への思いを語ったり、視聴者からのメッセージに応えたりした他、9時30分発の小出行き列車が発車する際には手を振るなどしました。

○「ふんわり」NHKラジオ第1 毎週月～金曜日  
午前8時30分～11時50分 放送中



▲只見線やローカル線への思いを伝えた六角さん(右)とゲスト出演した脇坂さん(左)



▲土だらけになりながら、一生懸命に頑張りました

## 只見駅周辺の利用者をおもてなし

### 只見小学校 花植えをしました

只見小学校1、2年生が6月19日にJR只見駅周辺で環境美化活動をしました。生活科の授業の時間で実施され、只見線を利用される方や、只見駅前を訪れた方を視覚でもおもてなしできるように町内団体等の皆さんらと花を植えました。

児童は「腕まで土まみれになったけど、キレイに植えられて良かった」と話しました。

## 只見町の民具活用事例を全国に

### 新国勇さん 飛騨市で只見町の民具を紹介

岐阜県飛騨市で開かれた「飛騨みやがわ考古民俗館開館30周年シンポジウム」に、ただみ・モノとくらしのミュージアム運営協会会長の新国勇さんが招かれ、「“民具愛”でまちづくり」のテーマで只見方式の民具整理や現代での活用方法などを解説しました。

令和5年には、日本民具学会全国大会が只見町で開催されるなど、只見町の民具の整理方式や活用事例は、全国モデルとして注目されています。



▲只見の民具について講演する新国さん